

## 議員定数削減・請願について

今回、市民から請願された議員定数削減案(3月議会では継続審議)は、賛成少数で「否決」となりました。

賛成…市民と市政をつなぐ会(朝田・矢澤)・民主市民クラブ(大久保議員)  
反対…自民クラブ・公明党・共産党

そもそも論になりますが、今回5605名の署名が集まり「議員を減らせ!」という声が出る背景は、議員の活動自体、有権者である市民から「活動も見えにくい」のが実情であり、議員側も積極的に情報を「発信」していないからだとは私は考察しています。また、採択に反対する議員が「議員数が少なくなると、市民の声が届きにくくなる」と言っておりまし。それは議員の努力次第で解決出来る問題だと思います。

先日、今回の署名をした方から「ちゃんと働いている議員だったら、今の定数でも問題はないし、手取り28万程度の報酬で専業は厳しい、もっと報酬面も含めて充実させても良いのでは?」という声が寄せられました。

採決にあたり、会派を代表し、私が「賛成討論」を行いました。

※その後、議員提案で「議員定数2減」の議案が提出され、私達も「削減」という趣旨に賛同し賛成、議案は賛成多数で可決しました。(反対は共産党のみ)

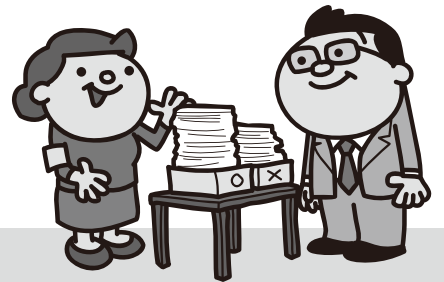
## 議員年金について

今議会に、「地方議員年金の充実を求める決議」を採択する議案が提案されました。

あと数年で議員年金の基金が破綻する可能性があります。それを防ぐためにおそらく、公費の投入(税金)をするという動きが予想されます(私見)。私も現在、議員報酬から「月約6万円」自動で引き落としされています。今回、決議の趣旨には一定の理解を示しますが、(充実=公費負担(税金の投入)このご時勢で、公費負担を増やすことはナンセンスであり、仮に今のシステムでは、また数年後には基金が枯渇し、同じような事態を繰り返すだけであり、まず先に議員年金の「根幹の見直し」をすることが先決だと私は考えます。

第一、議員を3期(12年)務めただけで、年金が貰えること自体が可笑しいシステムだと私は思いますが…

決議に賛成…自民クラブ・公明党・共産党・民主市民クラブ  
反対…市民と市政をつなぐ会(朝田・矢澤)



## 会派の議会報告会

5月9日(土曜日)八潮駅前メセナ・アネックスに於いて、「市民と市政をつなぐ会」として初めての「議会報告会」を開催しました。

開催にあたり、私と矢澤議員の広報誌に告知をしましたが、まだそれでは、情報発信が足りない判断し、4月30日・5月1日の両日、駅前でチラシを配布して開催のお知らせをしました。

その甲斐もあって、当日は土曜日の夜間にも関わらず45名の参加者がありました。

(参加していただいた方有難うございました)

私と矢澤議員が、それぞれ20分ずつ個々の一般質問の内容を中心に報告、その後、参加された皆さんと意見交換をしました。

参加された方の意見として、「個人的な報告会も良いが、会派として実施するのも、その会派の方向性を知ることが出来るので、今後も続けてほしいとの声がありました。」

また、後日「将来的に八潮市議会として実施できるように働きかけをしてほしい」とのご意見もいただきました。

(そうですね、そういう取組みが出来れば、市民から「議員削減!」の声も少なくなると思います!)